

## 平成24年度 郁雨寮・秀岳寮 事業報告

平成24年度は 郁雨寮が4月に老朽化のため下記に移転し活動しております。  
また 秀岳寮が水漏れ事故で急遽3月に移転を余儀なくされ、下記での活動が開始されました。

郁雨寮・・・札幌市平岸1条8丁目

秀岳寮・・・札幌市平岸1条1丁目

定員は、2か所・各6名の計12名とし活動してきました、2月には10年以上世話人として勤務した職員が定年退職となり、後任には支援センターから精神保健福祉士の常勤職員を配置し引き継ぎを行いました。職員は管理者1名、サービス管理責任者1名、常勤2名、非常勤2名体制で継続しています。水漏れ事故では冬場であったこともあり利用者さんの体調が気遣われましたが、問題なく過ごすことができおり、4月末には無事、不動産業者との話し合いも終了いたしました。

入居状況・・・入居者11名 体験利用者もありましたが、現段階では入居には至っていない状況です。

### 《札幌市から共同生活援助サービスの適正な職員配置についての通達》

夜間および休日の職員配置について、利用者の安否確認が取れない場合は サービス算定不可とのこと。

段階的に 平成26年3月末までは 経過措置として自宅待機および電話対応での安否確認をし、業務日報に記録することが出来れば算定出来るものとする。ただし、安否確認の取れないものは、速やかに対応すべしとある。

平成26年度からは 休日の勤務体制を確立し、平日と合わせて職員配置を行うこと。またその際は、実際に面会し安否確認を行う。（外出時を除く）

郁雨寮としては 平成25年度については 電話での安否確認の方法を検討中である。これにより、携帯電話機の購入や、休日の対応時間の 振替など検討しているところであり、6月には実際に開始する。